

#### 5 - 4 東海地方の微小地震の分布 (1995年11月1日～1996年4月30日)

#### Distribution of Microearthquakes in Tokai District (November 1,1995-April 30,1996)

名古屋大学理学部

School of Science , Nagoya University

前報<sup>1)</sup>に引き続いて1995年11月1日より1996年4月30日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

第1図は1995年11月1日より1996年4月30日までの6カ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3カ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

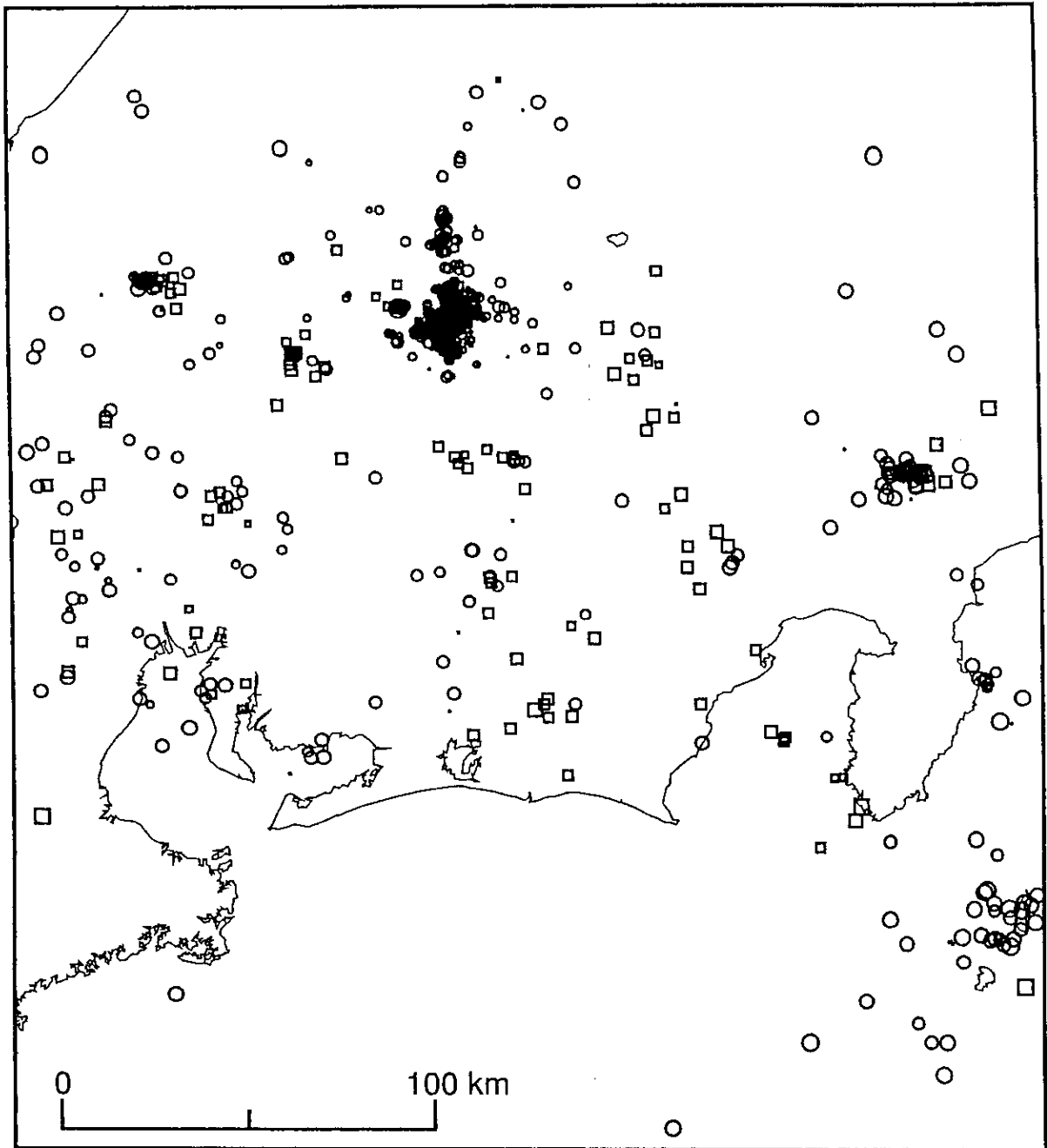
(1) この期間の地殻内陸部に発生する地震は12月4日長野県西部でM4.1, 12月7日および3月18日に岐阜県中部でそれぞれM4.5とM4.1があったほか, 2月7日に岐阜・福井県境付近で余震を伴うM5.0地震があり, 北西部では非常に活動的であったが, 愛知・静岡県では定常的な活動であった。

(2) 伊豆半島東部では全期間を通じて活動的であった。また, 神津島付近でも活発な地震活動が見られたが, 以後も活動的である。

(3) 長野県西部地域ではM3.0以上の地震も多く活動的であるが, 先にのべた12月4日のM4.1の地震は従来発生したことのない御岳山頂の南西6kmの地域で以後ここで継続して地震が発生している。1984年9月の長野県西部地震以来静穏であった余震域に近接した南側の地域における活動は活発化し, 群発活動域は北東にも拡張している。

#### 参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部: 東海地方の微小地震の分布 (1995年5月1日～1995年10月31日), 連絡会報, 55 (1996), 383-386.



N = 1249

DEPTH 0 10 20 km  
 ○ □

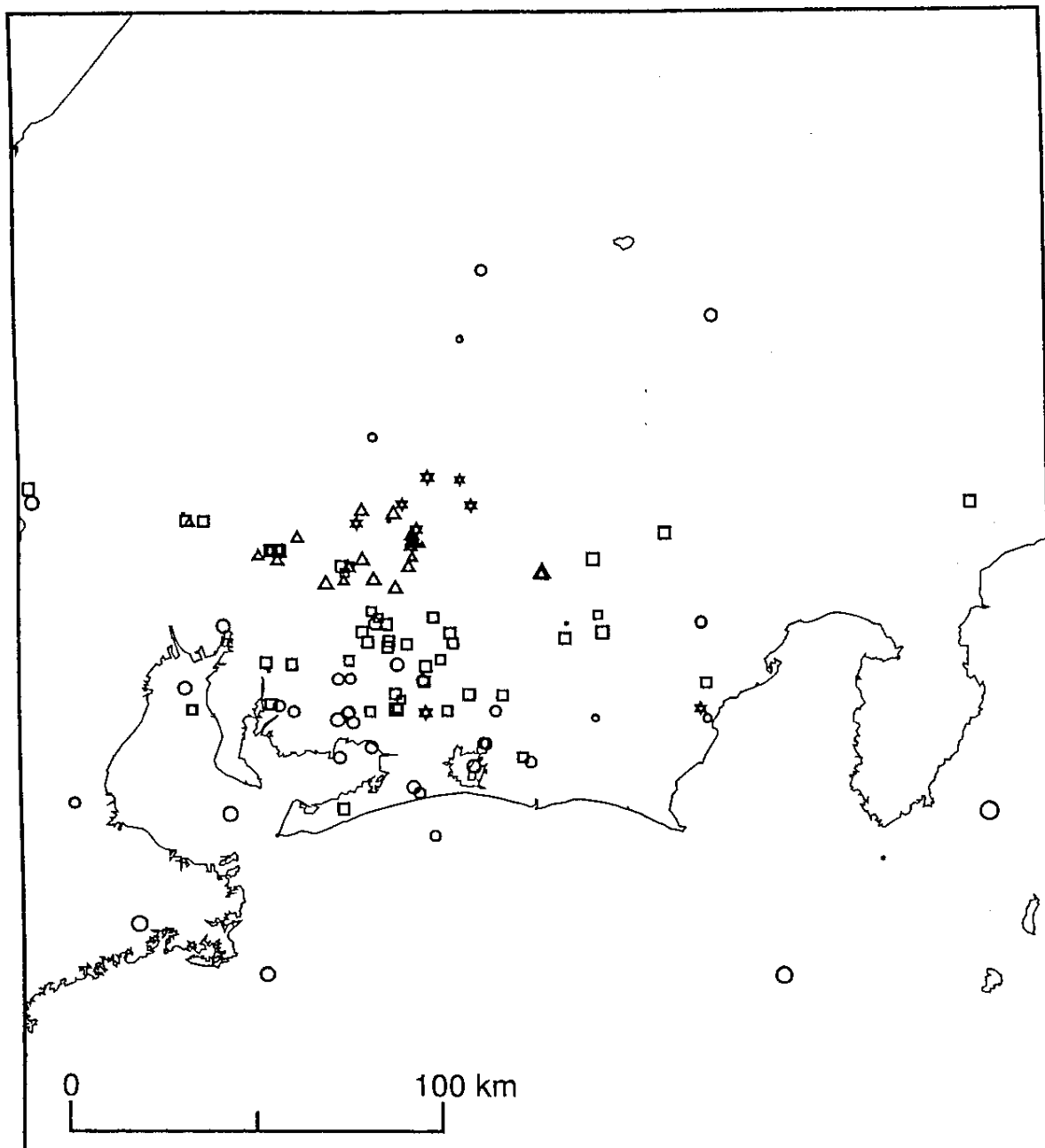
MAG. 1 2 3 4  
 • ○ ○ ○ ○

1995 11 1 - 1996 4 30

(NAGOYA UNIV.)

第1図 微小地震の分布 (1995年11月1日~1996年4月30日) 震源の深さが20km未満のもの

Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1,1995-Apr. 30,1996) shallower than 20km..



N = 119

|       |    |    |    |    |    |    |      |   |   |   |   |
|-------|----|----|----|----|----|----|------|---|---|---|---|
| DEPTH | 20 | 30 | 40 | 50 | 80 | km | MAG. | 1 | 2 | 3 | 4 |
|       | ○  | □  | △  | ☆  |    |    |      | • | ◦ | ◌ | ◉ |

1995 11 1 - 1996 4 30

(NAGOYA UNIV.)

第2図 微小地震の分布(1995年11月1日~1996年4月30日)震源の深さが20km以深から80km未満のもの

Fig.2 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1,1995-Apr.30,1996) deeper than and equal to 20km.